



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月26日

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント 上場取引所 東  
 コード番号 4733 URL <https://www.obc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 成史  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 和田 弘子 TEL 03-3342-1881  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,195	△7.1	8,631	△11.1	9,353	△9.4	6,424	△11.4
2020年3月期第3四半期	22,826	7.4	9,704	3.2	10,327	2.4	7,254	△8.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	85.47	—
2020年3月期第3四半期	96.51	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	148,250	123,349	83.2
2020年3月期	143,129	118,525	82.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 123,349百万円 2020年3月期 118,525百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	1.4	12,700	△2.2	13,500	△3.8	9,160	△8.0	121.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	80,704,000株	2020年3月期	80,704,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,536,074株	2020年3月期	5,537,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	75,167,070株	2020年3月期3Q	75,165,120株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響で経済活動が大きく制限されるなか、企業収益や景況感の悪化、個人消費の低迷が長期化し、厳しい状況で推移いたしました。感染拡大の傾向は継続しており、先行きの見通しも依然として不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス産業においても、テレワーク等に関するシステム需要が底堅くあるものの、企業活動の制約からシステム投資計画にも少なからず影響が想定され厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、企業環境の変化をとらえ、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えたシステム開発やサービス提供に努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、例年開催しておりましたリアルイベントをオンラインに切り替え、10月には販売パートナー様向け「OBCパートナーカンファレンス2020」を開催し、「奉行クラウド」をメインにパートナー様のビジネスと融合した提案や情報共有を図る場とし、より強固な協働体制につなげてまいりました。また、11月にはユーザー様向け「奉行クラウドフォーラム2020」を開催し、クラウドで実現する「業務のデジタル化」について情報提供をしてまいりました。本フォーラムでは10日間のオンデマンド配信も実施し、より多くのお客様にご視聴いただく機会を提供いたしました。

このような活動の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は211億95百万円(前年同四半期比7.1%減)、営業利益は86億31百万円(同11.1%減)、経常利益は93億53百万円(同9.4%減)、四半期純利益は64億24百万円(同11.4%減)となりました。

売上高が前年同四半期比7.1%、営業利益が同11.1%、経常利益が同9.4%、四半期純利益が同11.4%減少した主な要因は、前年は自社製品のサポート終了や消費税制度改正により製品バージョンアップの売上や新規売上が好調であったことの反動によるものであります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,178億24百万円となり、前事業年度末に比べ16億71百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が26億29百万円増加し、売掛金が11億17百万円減少したことによるものであります。固定資産は304億25百万円となり、前事業年度末に比べ34億49百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が29億40百万円、有形固定資産が4億94百万円、敷金及び保証金が1億62百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,482億50百万円となり、前事業年度末に比べ51億20百万円増加いたしました。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は184億26百万円となり、前事業年度末に比べ12億87百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が12億90百万円減少したことによるものであります。固定負債は64億74百万円となり、前事業年度末に比べ15億83百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が10億87百万円、退職給付引当金が3億36百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は249億円となり、前事業年度末に比べ2億96百万円増加いたしました。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,233億49百万円となり、前事業年度末に比べ48億23百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が26億65百万円、その他有価証券評価差額金が21億47百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.2%(前事業年度末は82.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,093億20百万円となり、前事業年度末と比較して26億29百万円の増加となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、66億24百万円(前年同期は73億49百万円の収入)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益93億53百万円、売上債権の減少額9億59百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額39億70百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億34百万円(前年同期は1億39百万円の収入)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億21百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億63百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、37億60百万円(前年同期は37億58百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額37億59百万円等によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年4月23日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	106,700,778	109,330,163
受取手形	1,724,108	1,881,923
売掛金	7,356,458	6,239,125
商品及び製品	135,663	148,172
仕掛品	1,168	606
原材料及び貯蔵品	71,661	66,911
前払費用	147,926	149,653
未収入金	8,044	6,804
その他	10,643	7,260
貸倒引当金	△3,664	△6,542
流動資産合計	116,152,789	117,824,079
固定資産		
有形固定資産	505,625	1,000,611
無形固定資産	417,402	268,318
投資その他の資産		
投資有価証券	25,265,079	28,205,739
関係会社株式	9,196	9,196
長期未収入金	61,240	63,520
敷金及び保証金	751,125	913,835
会員権	32,380	32,380
破産更生債権等	4,335	2,757
貸倒引当金	△69,725	△70,427
投資その他の資産合計	26,053,630	29,157,001
固定資産合計	26,976,658	30,425,931
資産合計	143,129,448	148,250,010

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	289,651	198,513
未払金	763,723	1,278,857
未払費用	934,508	861,669
未払法人税等	2,212,835	922,700
未払消費税等	434,595	384,561
預り金	89,909	189,150
前受収益	14,909,934	14,545,667
役員賞与引当金	72,000	40,000
その他	6,173	5,041
流動負債合計	19,713,331	18,426,161
固定負債		
繰延税金負債	1,296,917	2,384,106
退職給付引当金	2,493,694	2,830,264
長期未払金	952,172	952,172
資産除去債務	147,563	307,682
固定負債合計	4,890,347	6,474,226
負債合計	24,603,679	24,900,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,957,416	18,966,705
利益剰余金	84,821,015	87,486,883
自己株式	△5,347,640	△5,346,191
株主資本合計	108,949,791	111,626,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,575,977	11,723,224
評価・換算差額等合計	9,575,977	11,723,224
純資産合計	118,525,769	123,349,622
負債純資産合計	143,129,448	148,250,010

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	22,826,764	21,195,438
売上原価	4,001,756	3,470,553
売上総利益	18,825,007	17,724,885
販売費及び一般管理費	9,120,982	9,093,355
営業利益	9,704,024	8,631,530
営業外収益		
受取利息	182	227
受取配当金	639,141	666,906
投資有価証券売却益	7	558
その他	14,825	101,344
営業外収益合計	654,155	769,036
営業外費用		
投資有価証券売却損	583	—
投資事業組合運用損	27,139	44,442
その他	3,341	2,858
営業外費用合計	31,064	47,301
経常利益	10,327,116	9,353,265
特別利益		
投資有価証券売却益	378,722	—
関係会社株式売却益	12,279	—
特別利益合計	391,002	—
特別損失		
固定資産除却損	110,070	102
特別損失合計	110,070	102
税引前四半期純利益	10,608,048	9,353,163
法人税、住民税及び事業税	2,959,965	2,788,183
法人税等調整額	393,603	140,763
法人税等合計	3,353,569	2,928,946
四半期純利益	7,254,479	6,424,216



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	10,608,048	9,353,163
減価償却費	445,653	425,334
退職給付引当金の増減額(△は減少)	214,739	336,570
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,000	△32,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,100	3,580
受取利息及び受取配当金	△639,323	△667,133
投資有価証券売却損益(△は益)	△378,146	△558
関係会社株式売却損益(△は益)	△12,279	—
固定資産除却損	110,070	102
投資事業組合運用損益(△は益)	27,139	44,442
売上債権の増減額(△は増加)	2,105,171	959,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	456	△7,197
前払費用の増減額(△は増加)	28,948	△1,727
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,487	△91,137
未払消費税等の増減額(△は減少)	△251,277	△50,034
未払費用の増減額(△は減少)	△161,980	△72,839
前受収益の増減額(△は減少)	△98,304	△364,266
その他	6,405	92,053
小計	11,836,733	9,927,870
利息及び配当金の受取額	639,323	667,133
法人税等の支払額	△5,126,726	△3,970,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,349,330	6,624,435
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	483,898	109,129
関係会社株式の売却による収入	19,176	—
有形固定資産の取得による支出	△87,625	△59,740
無形固定資産の取得による支出	△211,817	△121,346
敷金及び保証金の差入による支出	△65,967	△163,992
敷金及び保証金の回収による収入	1,509	1,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	139,173	△234,667
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△3,758,188	△3,759,900
自己株式の取得による支出	—	△482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,758,188	△3,760,382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,730,315	2,629,384
現金及び現金同等物の期首残高	97,829,792	106,690,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	101,560,107	109,320,163

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響に関する開示)

当社は、緊急事態宣言下においては、社員及び顧客の安全確保を優先するため在宅勤務やリモートによる商談、webでの操作指導などを推進してまいりました。従来からの訪問による営業活動、イベント等への出展は制限されるものの、リモートによる商談やオンラインを活用したイベント開催など営業活動のデジタル化が徐々に定着しつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中でも一定の営業活動を維持しております。

当第3四半期累計期間の投資有価証券の評価、貸倒引当金の計上基準、退職給付引当金の計上基準等の重要な会計方針に関する見積りへの影響は僅少だと判断していますが、経済活動への影響が長引く場合には、投資有価証券の評価額の下落や売上債権の回収懸念など当社の経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、ソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」（ソリューションテクノロジー及び関連製品）と「サービス」についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

四半期販売の状況

(単位：千円・%)

品 目	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	9,727,455	42.6	7,063,339	33.3	△2,664,115	△27.4
ソリューションテクノロジー	7,005,671	30.7	4,954,998	23.4	△2,050,672	△29.3
関連製品	2,721,783	11.9	2,108,340	9.9	△613,442	△22.5
サービス	13,099,309	57.4	14,132,099	66.7	1,032,790	7.9
合 計	22,826,764	100.0	21,195,438	100.0	△1,631,325	△7.1